

第43回企画展

Bears : Umbrella Species in Forest Ecosystems

熊

2008年
7月12日(土) ▶ 9月21日(日)

* 7月12日(土)は、午後1時から公開となります。

森のアンブレラ種

■記念行事

* 右記イベントは、すべて事前申込み制となっております。

●自然講座

「人とクマとの関わり」

7月12日(土) 13:30~15:30

講師：田口洋美氏(東北芸術工科大学教授)
横田 博氏(野生動物写真家)

●自然観察会

「動物園のクマ舎を探検

上野動物園見学スペシャルツアー」

7月30日(水) 14:00~16:00

場所：東京都恩賜上野動物園
講師：小宮輝之氏(上野動物園園長)
井出桂子氏(上野動物園飼育展示課)

●自然講座

「クマの研究最前線・ツキノワグマで分かっていること、分かっていないこと」
8月9日(土) 13:00~16:30
6名の若手研究者によるワークショップ

■開館時間 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 毎週月曜日

(ただし、7月21日(月) 9月15日(月)は開館し、翌日が休館となります。)

■入館料 大 人 720円(580円) 年間パスポート1,500円
高校・大学生 440円(300円) 年間パスポート1,000円
小・中学生 140円(70円) 年間パスポート 300円

* () 内は20名以上の団体料金です。
* 未就学児、満70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は入館無料です。
* この料金には、本館内常設展・野外施設入場料が含まれています。
* 毎週土曜日は、小・中・高校生は入館無料です。
(ただし、夏休み期間を除きます。)

■主催 ミュージアムパーク茨城県自然博物館

■共催 NHK 水戸放送局

■後援 環境省・茨城新聞社・ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

■次回企画展のお知らせ ●第44回企画展「ザ・ストーン・ワールド(仮称)」2008年10月11日(土)~2009年1月12日(月)

■交通案内

- 車利用の場合
・常磐自動車道谷和原ICから20分
- 鉄道、バス利用の場合
・つくばエクスプレス守谷駅下車~関東鉄道バス「岩井行き」又は「狼鷹行き」乗車~「自然博物館入口」下車、徒歩5分
・JR柏駅から東武野田線乗り換え、安谷駅下車~茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車~「自然博物館入口」下車、徒歩10分



ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県坂東市大崎700番地 TEL 0297-38-2000

ホームページアドレス <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>

書 服部仁一

Bears : Umbrella Species in Forest Ecosystems

世界には8種のクマの仲間が分布し、日本にはエゾヒグマとニホンヒグマが生息しています。生態系の頂点に立ち、アンブレラ種として豊かな生態系を維持する役割を果たしていますが、その生活や各地での状況などにはまだまだ未知の部分が多いです。

今回の企画展では、海外のクマ研究者にも協力をいただき、世界のクマの生態や現状について紹介します。また特にニホンツキノワグマにスポットを当て、これまでに分かっていること、これから知らなくてはいけないことについて分かりやすく解説します。

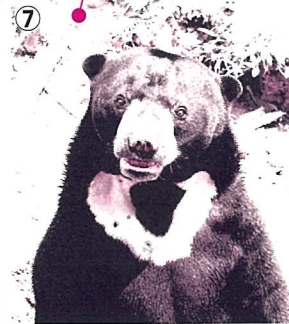
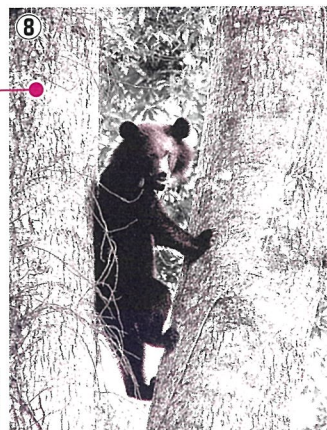
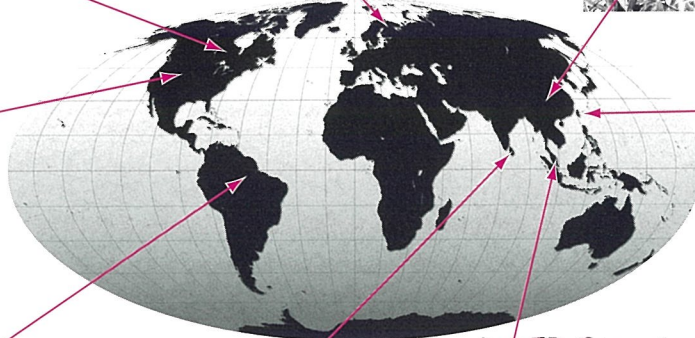
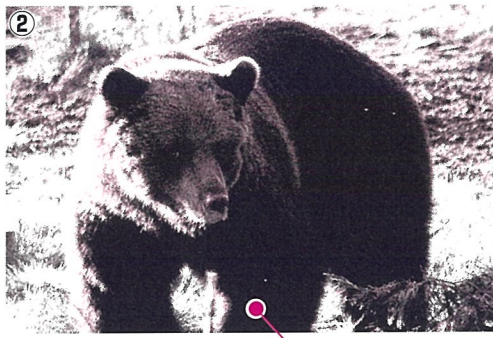
クマと人間との間での不要な軋轢^{あつれき}を避けるためのヒントや、日本での歴史的なクマと人との付き合いについても紹介します。



Living with Bears

© NPO法人信州ツキノワグマ研究会

アンブレラ種：生態系ピラミッドの頂点に立ち、生活のために大きな面積を必要とする種を指します。このような種の生息環境を保全することが、その傘下にあるその他の生きものを環境改変などの“風雨”から守ることにつながることから“アンブレラ種”とよばれます。



- ①カナダのホッキョクグマ
(提供: Andrew Derocher)
- ②フィンランドのヒグマ
(提供: Andres Ordiz)
- ③中国のパンダ
(提供: Jien Gong)
- ④アメリカのアメリカクロクマ
(提供: David L. Garshelis)
- ⑤ベネズエラのアンデスグマ
(提供: Isaac Goldstein)
- ⑥スリランカのナマケグマ
(提供: Shyamala Ratnayake)
- ⑦マレーシアのマレーグマ
(提供: Siew Te Wong)
- ⑧台湾のアジアクロクマ
(提供: Mei-Hsiu Hwang)

■展示構成

第1部 世界のクマの仲間

世界8種のクマの仲間を、完成度の高い標本で間近にじっくりお見せします。

第2部 日本のクマの仲間

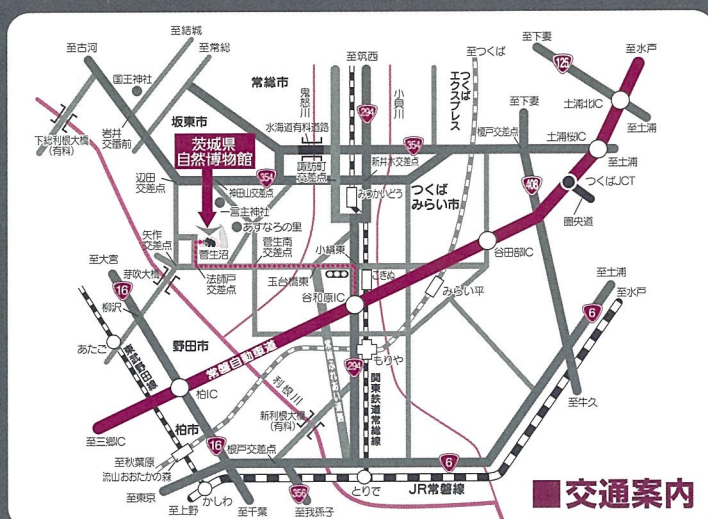
エゾヒグマとニホンツキノワグマ、特にツキノワグマの生き様に最新の研究結果から迫ります。

第3部 身の回りのクマたち

金太郎、ティディベアから伝統的狩猟まで。前川貴行氏のクマの写真ギャラリーも併設します。

第4部 人とクマのこれから

限られた土地の中で、クマと人間がうまくやっていくためには何が
必要か考えてみましょう。



■ 交通案内

- 車利用の場合
 - ・ 常磐自動車道谷和原ICから20分
- 鉄道、バス利用の場合
 - ・ つくばエクスプレス守谷駅下車
 - ↓
 - 関東鉄道バス「岩井行き」又は「猿島行き」乗車
 - ↓
 - 「自然博物館入口」下車、徒歩5分
 - ・ JR柏駅から東武野田線乗り換え、菱岩駅下車
 - ↓
 - 茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車
 - ↓
 - 「自然博物館入口」下車、徒歩10分